



3月下旬から4月中旬、菜の花が土手を彩る荒川。全国15番目の長さで、源流は秩父市にある甲武信ヶ岳の山中からはじまります。

下流域の広々とした流れが、埼玉県民の暮らしを古くから支えてきた歴史をもち、さらに東京湾に直結する地の利から、江戸時代より物流の大動脈としても機能してきました。



遊歩道

和光富士見
パイクラス

東京外環自動車道

朝霞水門

荒川

新河岸川

福祉の里

荒川河川敷運動公園野球場

新倉橋

芝宮橋

板橋

白子川

野川公園

和光市アーバンアクア公園

アグリパーク

和光高校

入福社

水道道路

入アクリンス

管理組合たより 越戸川(259号)参照

管理組合たより 吹上・下新倉(270号)参照

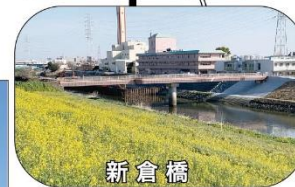
市内循環バス
白子・吹上コース
東武バス

徒歩
朝霞水門(新倉橋経由)まで
CIハイツより約4.7km(1時間5分)
和光高校バス停より約2.4km(35分)

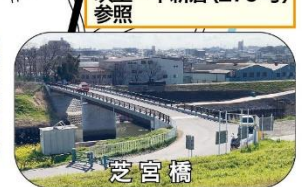
↓新河岸川は洪水による大きな被害を起こすことから、河川改修工事が実施され、平成7年に荒川水門を完成させました。新河岸川の洪水のピークは荒川より早いことを利用して、荒川に分流して新河岸川の洪水を防ぐ効果があります。



朝霞水門



新倉橋



芝宮橋



朝霞水門
完成記念碑



朝霞水門 朝霞側から